

# 平成28年度日高川町文化表彰

11月10日に農村環境改善センターにおいて平成28年度日高川町文化表彰式が行われ、2名、2団体の方が受賞されました。



## 日高川町文化賞(個人の部) <sup>もりた じゅんぞう</sup> 森田 淳三さん(小熊)

平成7年に「NHK短歌」に入選し、その後、「NHK歌壇」や全国紙の「歌壇」に数多く入選されました。それぞれの選者に選ばれた歌は500首を超えています。また、「川辺町史」の勉強会を主催するなど、地域文化の高揚、発展に貢献されました。平成10年から16年間「会報 川辺文化」に「短歌 ふるさと寸描」を連載。昨年まで14年間、川辺文化協会の顧問を務められました。



## 日高川町文化賞(団体の部) <sup>そうがわまつりほぞんかい</sup> 寒川祭保存会

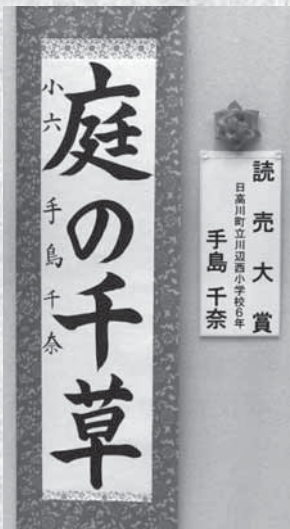
●発足/昭和35年 ●代表/奥村昌弘さん ●会員数/40名

寒川地区に伝わる寒川祭の保存、継承を目的に発足し、昭和40年に県の無形民俗文化財に指定されました。これまでの文化芸能の振興、文化財の保護、地域文化の伝承等における功績が認められ、平成7年に「和歌山県文化奨励賞」、平成17年に文部科学大臣から「地域文化功労者表彰」を受賞されました。現在においても月2回、祭笛の練習を行うなど伝統を受け継ぐ活動を行っています。



## 日高川町文化奨励賞(個人の部) <sup>てしま ゆきな</sup> 手島 千奈さん(小熊)

小学校3年生から書道を始め、平成26年に日本の小・中・高校生の書道展で最高権威といわれている「第30回成田山全国競書大会」において「読売大賞」を受賞し、日中少年少女書道交流団として日本代表15名に選ばれ、中国の北京市に派遣されました。以降も数々の競書大会などで賞を受賞され、来年高校に進学した後も技量を磨きたいという強い意欲を持っています。



## 日高川町文化奨励賞(団体の部) <sup>くらぶ きづな ほし</sup> あすなろ倶楽部・絆の星

●発足/平成24年 ●代表/中本毅さん ●会員数/16名

会員は町内の小学生から高校生までの16名。これまで、町内各種行事への出演や大阪狭山市の「表現倶楽部うどい」との共演舞台を行う一方で、老人施設への訪問や国体関連ボランティアなどにも積極的に取り組んできました。また、若者たちがふるさとへの誇りと愛着心を育めるよう、生まれ育った町の伝統や文化、歴史などを取り入れた舞台をも展開し、若者の健全育成にも取り組んでいます。



# 平成28年 秋の叙勲受章

～おめでとうございます～

## 旭日双光章 花光 輝雄氏(江川)

昭和50年4月に旧川辺町議会議員に初当選し、平成15年4月までの7期28年にわたり在職。その間、議長、産経常任委員会委員長、文教常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会広報特別委員会委員長、合併問題調査特別委員会委員長を歴任され、地方自治の発展、企業誘致政策などの産業振興、旧川辺町の基幹産業である農業の振興等に多大な貢献を果たされました。



## 旭日双光章 池本 勝己氏(皆瀬)

平成7年に(社)県LPガス協会の日高支部長に就き、同協会の理事となり平成19年5月から副会長、平成23年6月から平成27年5月まで会長を務められました。会長時代には、平成23年の東日本大震災や紀伊半島大水害の教訓を生かし、災害時のLPガス供給に関する防災協定を、県及び地元日高支部全6市町と締結しました。また、平成23年の水害時には、自身が経営するガソリンスタンドが被災しながらも、消費者の施設点検などでライフラインの早期復旧に貢献されました。



## 中津支所建て替え工事の地鎮祭が行われました

中津支所庁舎建築工事の地鎮祭が、10月24日に行われました。紀道神社の間野常民宮司が神事を執り行った後、市木町長が「旧庁舎は、旧中津村役場の本庁として長きにわたって利用されてきたが、耐震性などの問題から改築が決まった。新庁舎完成後はさらに支所業務を充実させたい。」と挨拶しました。新しい庁舎は来年3月末の完成予定です。



完成予想図



## 和歌山県健康づくり運動優良市町村表彰“最優秀賞”

10月9日「わかやま健康と食のフェスタ2016」において日高川町が健康づくり運動優良市町村表彰“最優秀賞”を受賞しました。

この賞は、県内29市町村(和歌山市除く)において、①健康推進員の人数②健康増進計画の策定③健診受診率(特定健診・各種がん検診)について点数化し、点数が県内で最も高かった日高川町が“最優秀賞”となりました。

